

(3) 香川用水

香川県は、干ばつ常習地、特に東讃の引田町では、稲作のほか、い草の栽培で灌漑用水を多量に必要としていたため、たびたび被害があった。特に昭和一四年の干ばつ被害は甚大で、「どびん水」といって、どびんで稲株に水を配ったという。また、神に雨乞いもした。

溜池を作り、ダムを築造しても、水不足は解消せず根本的解決にはならなかった。

夢のような「吉野川の水を香川県に」を計画に移したのは、経済安定本部が「吉野川総合開発計画案」を、発表した昭和二五年（一九五〇）からである。昭和二九年吉野川総合開発促進協議会を中心に「吉野川開発調整案」を完成したが、徳島県の賛成が得られず、開発計画は一時停滞した。

三八年（一九六三）、建設省が早明浦ダム調査に着手すると同時に、地元住民の賛否両論のなか、測量設計、香川県用水計画が進められた。

四一年吉野川総合開発香川用水建設期成会を設立。四

第2編 産業・経済

二年七月七日大川郡建設期成会を設立。同一〇月一〇日、大内町・白鳥町・引田町も香川用水事業に追加編成された。四三年、香川用水土地改良区設立認可、同一〇月二四日起工式が行われた。

早明浦ダム（総貯水量三億一六〇〇万リットル）は四八年（一九七三）一一月に、取水堰となる池田ダム（総貯水量一二六五万リットル）も三月に竣工した。

「香川県農業史」によると、香川用水計画は吉野川水系の水資源利用の高度化を目ざす、吉野川総合開発計画の一環として、吉野川の水を香川県に導入し、香川県の用水不足を全面的に解消して、産業基盤を強化すると共に、生活環境の整備を図ることを目的として計画された。

吉野川本流上流（高知県長岡郡本山町）に建設された早明浦ダムと、池田ダム（徳島県三好郡池田町）からの水を、阿讃山脈を貫き、導水トンネル（八〇キロで三豊郡財田町へ、二億四、七〇〇万リットル）（香川県に配分される年間の水量）を、

灌漑期平均毎秒二・五リットル
非灌漑期平均毎秒五・五リットル



平成四年度香川用水は馬宿川を渡る

池の上に「香川用水通水碑」にその概要が記されている。

位置 引田町 吉田 石引池
工事 開始 昭和五二年六月着工
工事 全長 六・五キロ
通水 昭和五三年七月二二日
年間取水量 九〇万リットル

東西幹線水路によって、

東部は大川郡白鳥町の宮奥池（七四〇リットル）
西部は三豊郡豊浜町姥ヶ懐池（一三三〇リットル）
東部幹線水路の高瀬支線は

高瀬町の満水池（一一三〇リットル）

支線水路（農業専用）を別紙一のごとく導入し
農業用水、都市用水にするものである。

引田支線水路 香川用水引田支線の工事について、石引



石引池の上には、四国のみちの案内板とともに香川用水の碑がある

香 工事 完成 昭和五五年四月三〇日
総工費 三億七千五百万円

川 吉野川総合開発計画の一環として遠く四国山脈ノ奥深く其処ニ源ヲ発シタ早明浦ダムヨリ池田ダムニ取水シテ阿讃トンネルヲ通り讃岐ノ東端引田町吉田石引池ニ至リ其ノ水ハ農業用水及ビ上水道用水トシテ川股浄水場ヘポンプ送水シ 引田町ノ水需要ノ安定ヲ図ル 官民一体ノ努力ト地元住民ノ協力ニヨリ此ノ大事業ヲ成シ通 遂ゲタコトニ思フ至ストキ満々ト湛エラレタ此ノ水ニ尊キモノヲ学ブコトガ出来ル幾世紀ニ亘ル水争ノ歴史水ノ中デ 先人ガ渴望シテ止マナカッタ夢ガ今此処ニ実現シ感慨無量デアル完工ノ喜ビヲ筆ニ託シテ概要ヲ後碑 世ヘノ記録トスル

昭和五五年四月吉春

引田町長 柏木 甫
吉 田 自治会

引田支線追加 綿密に計画され、馬宿川を横断し、平成四年度に、保田池・宗極池までの導水が完了した。
引田町に香川用水が配水され、千足ダム完成と合わせて、引田町の水不足も解消した。